
Echo

いかれ帽子屋

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Echo

【コード】

N9053Y

【作者名】

いかれ帽子屋

【あらすじ】

ラジオネーム「優柔不断なこうもり」を名乗る青年は逃げるように家出をし、ひよんなことから沢渡藤花に拾われた。一週間を彼女の家でオセロをして過ごすことになる。七人の小人がひとり足りない喫茶店の女主人、火葬場で妻の焼けた骨を掴んだ老人、キョクアジサシを語る彼女、脚の悪いピアノ教室の先生と付き添う男性との出会いを経てこうもりは一つの決意と、おにぎりが美味しい理由を知る。『マリアノイズ』『ボーダレス・レイン』『ブレイヴ・ダーク』のちよっとした後日談。フリマに出す再録本に前述の三作が載

るといふことで、無料配布の小冊子に書いた小説です。

E c h o ?

十九歳、最後の一週間。

オセロの準備はすでに出来ていた。部屋にはラジオもかかってい
る。二人分のおにぎりを乗せた皿を傍らに降ろし、沢渡藤花の前に
座る。彼女は石をおもむろに掴んで差し出す。

「上の面は白黒どっち？」

しばらく悩んでから、こうもりは白と答えた。藤花が指を開く。
黒だった。満面の笑みを浮かべ「あたしが先攻ね」と間髪入れず盤
に白い石を置き、間にはさまれた黒い石をひっくり返す。まだ一列
が白くなっただけだというのに彼女は誇らしげだ。

中盤に差し掛かる頃、藤花が軽食に手を付ける。

「ご飯をただ握っただけなのに、おにぎりってなんか美味しいのよ
ね。人が握ってくれると尚のこと」

満足してもらえたようだ。こうもりは安堵した。

どちらがコーヒー豆を買いに行くかを決める戦いは最後まで白が優
勢に進んだ。

「喫茶店までの緻密な地図を書いてください」

こうもりは潔く負けを認めた。

藤花に拾われた日、彼はなるべく遠くへ行こうとしていた。知り
合いとすれ違うことのない、そんな場所を目指してバスに揺られる。
車内で見かけた青年が持っている本を以前、自分も読んだことがあ
って何度も声をかけたいと思った。けれど見ず知らずの自分がいき
なり話しかけたら、不快感を示されるのではと考えるとためらわれ
た。降車する彼の背を見送って肩を落とす。

乗客は女性と二人になった。イヤホンに付けてラジオのチュ

ーニングをし、オーシャン・レディオに周波数を合わせる。

交差点で停車する。物憂げに車窓から外を眺めていた。バスの前を悠々と人が横切っていく。次第にまばらになり、最後に老婆が覚えぬ足取りで横断歩道に踏み出した。半ばで帽子が飛ばされた。歩行者用の信号機が点滅を始め、彼女は帽子を一瞥して渡り切る。

走り出したバスが老婆を横切る。彼女は車道の際に立って、惜しげに帽子の行く末を見守っていた。どうしようもないけれど胸が痛んだ。せめて踏まれていないようにと祈りながら振り返る。

後続車の前に、男性が飛び出すところだった。彼はガードレールをまたぎ、立ち止まることなく帽子を拾い上げて渡り切る。埃をはらって老婆に手渡した時、心臓が高鳴り自分のことのように歓喜した。わが身を顧みず自動車の前に躍り出るなんて真似出来ないと思っ

た。興奮が冷めきれない震える指先で携帯電話のキーを押す。上手く言い表せないかも知れないけれど、誰かと共有したい。その一心でラジオ番組に投稿した。

しばらくして『次のお便りは千葉市にお住まいのラジオネーム、優柔不断なこうもりさんから』と聴こえてきて、主張が受け入れられたようで嬉しかった。けれど自称したにも関わらず、立ち位置を決められないこうもりの寓話を思い浮かべて確かに自分にぴったりだと自嘲した。萎むように気分がいつきに落ち込む。

終点で降りた。一グラムの重みもない筈の感情が足取りを重くする。携帯電話の電池パックを抜いて、電源を落とした。

ベンチに腰掛けてうなだれる。これからどうしようか思い悩んでいると、バスに同乗していた女性が声をかけてきた。向かい合ってみると意志の強そうな眉根が印象的な、端正な顔立ちをしている。

「優柔不断なこうもりって、あんたでしょ」

どうしてみな、自分に出来ないことを平然とやれるのか。彼は不思議でならない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9053y/>

Echo

2011年11月27日01時50分発行